

# 虹ヶ丘新聞

## 第46号

ホームのようなまち  
まちのようなホーム

### 一足早く虹ヶ丘夏祭り

今年梅雨明けを待たず、七月六日(日)に恒例の夏祭りを行いました。例年お盆前の暑さ真っ只中での開催であったため、ご利用者ご入居者の体の負担を考慮、今年は時期を早めて屋内で開催しました。当日は三河内西会様によるしゃんぎりお披露目会と、レイ・アロハ様によるフラダンスショー、またNHKのど



自慢で優勝されました山根沙耶様による歌謡ショーと大いに盛り上がりました。しかし、

多くのお客様に来て頂いたものの、ステージ会場が狭く、ゆっくり座って模擬店の軽食を楽しみながら鑑賞していただくことができない結果となりとても残念でした。様々な反省と課題が残ることとなりましたが、来年は更にご利用者・ご入居者、またご家族様に楽しんで頂けるよう取り組んでいきたいと思っております。

### 今回の夏祭り開催にあたり、ご協力いただきました地域の皆様、ご家族の皆様には厚く御礼を申し上げます。(相談員)



### ケアハウス食事会

七月二五日、三河内の後藤先生のピアノの小学生の生徒さん四名がハンドベルの演奏に来てくださいました。

「うみ」から始まって「シャボン玉」「野に咲く花のように」「上を向いて歩こう」を演奏してください、入居者の皆様も懐かしい歌ばかりなので、どの歌も口ずさんでくださり、楽しい時間を過ごし、また「切手のない贈り物」という歌詞を壁一杯の用紙に可愛く書いてくださり、皆で大合唱して終了しました(この用紙は現在もケアハウスの壁に掛けてあります)。最後に、子供さん達が折り紙で作ったレイを入居者全員の首に掛けてくださり、また入居者の皆さんも子供さんが訪問して下さるといこととで、いつ

にもまして穏やかな表情を浮かべておられました。子供さんのおばあちゃんも応援に来



られ和やかな時間を過ごすことができました。(ケア)

### 流しそうめん



梅雨明けして暑い日が続く七月下旬に、シヨートステイでは流しそうめんをしました。竹を準備するのは難しいので、流しそうめん用の雨どいでさせて頂きましたが、流れてくるそうめんをみて『ほらほら、きたで：』『とれんな：』等、最初は薬味を入れるのも忘れるほど真剣に楽しんで頂けたように思います。

始まってからしばらくした頃に、座る位置によっては箸で掴むのが難しいことに気づき、食べにくそうにご利用者に



職員がお手伝いさせて頂きながら、職員も一緒に食べさせて頂きました。

まだまだ暑い時期が続くので、この夏にもう一回でも実施できたらと思います。(シヨート)

## 優しく微笑む、黄金のかかし

ひまわりフェスティバルで開かれるかかしコンテストに向け、デイサービスでは今年もご利用者・職員一丸となり、かかしを作りました。

今年は観音様のかかしを作り、名前も『「長寿観音」と名付けました。頭・腕・手・胴体という身体のパーツや後光を分けて作成しました。「難しいことは苦手だ」と仰るご利用者には、作業しやすい



所をお勧めし、男性のご利用者も一つひとつ丁寧に作成して下さいました。日に日に出来上がっていくかかしを見て「まあ！素敵になってきた」という声もあり、ひまわり畑が一面黄色に色づく頃、二週間あまりという短い期間でしたが、無事に完成することができました。

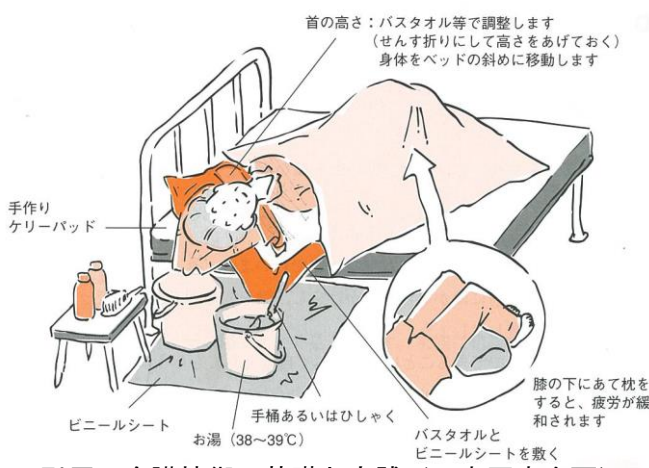
多くのご利用者の頑張りもあり、見事グランプリを頂きました。虹ヶ丘に展示しますので皆さんの力作をぜひご覧下さい。デイではこれから夏祭りなど楽し

い催しもあります。どうぞご期待下さい。(デイ)

## 洗髪の介助法について

虹ヶ丘にはヘルパーステーションという部署があります。ヘルパーの仕事は「身体介護」と「生活援助」に大きく区分されていますが、その中で今回はベッド上での洗髪についてお伝えしようと思えます。

ベッド上での洗髪を利用される方は段々と減っていますが、腰が急に痛くなり起き上がりが難しくなった等、いろいろな理由で洗髪だけを利用したいというご利用者もおられます。そのような時に



引用：介護技術の基礎と実践 (日本医療企画)

家にある、タオル類、大きめの「ごみ袋」、バケツなどを使用し、簡易洗髪グッズを作ります。

まず必要なのが頭にかけたお湯がこぼれないために使用するケリーパッドです。これさえできればベッド上での洗髪は難なく行えます。お湯が流れていく道も洗濯ばさみを使用したらこぼれることなく流すことができます。文章だけでは伝わりにくく、一見して難しそうではあります。案外簡単にできるベッド上での洗髪。また機会があればご相談下さい。(ヘルパー)

## あわしま祭

七月十三日、毎年恒例のあわしま祭りが神宮寺と石川区下地会館にて行われました。昔から「あわ



しまさんと言えば必ず雨が降る」と言われる程、雨が降る日が多いです。

しかし、今年の天気予報では雨のマークが無く、「今年は、もしかしたら…」と、好天になることを期待していました

が、残念ながら当日は朝から雨模様…。それも予想を超えた大雨になったため、ずぶ濡れになりながら、祭の準備を行うことになりました。

今年は、一〇二歳の方がお地藏様の前掛けを新調され、当日の準備段階で、かけ替えさせて頂くことができました。加えて、今年最大の目玉は、石川区各地域の青壮年部の方や、夢織りの郷様も模擬店を出店して頂いたため、地域の皆様と一緒に作りあげた、盛大なあわしま祭りとなりましたように思います。当事業所も例年通り、石川姫うどんの振る舞いをお手伝いし、予想を上回る三百食のうどんが二時間程度で全てなくなる程の大賑わいでした。今年も雨に祟られた「日」となりましたが、無事に祭を開催することができました。雨の中、準備等のお手伝いを頂いた皆さま、参拝に来られた皆さま、ありがとうございました。また来年もよろしくお願ひします。(神宮寺)

